

KiKiの広場

2023年 9月 1日
cafe NO.155
KiKi



今年の中秋の名月は29日で、満月と同じ日だそうです。中秋の名月を愛でる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われており、日本では農業の行事と結びつき「芋名月」などとも言われています。平和な世界では、夜空に浮かぶ美しい月を、心から楽しむことができます。色々な災害や戦争などで、もうずっと苦しんでいる方たちが、少しでも心穏やかに月を眺めることができる日が、早くくることを願わずにはおられません。

9月の予定

休館日	12日(火)
休業日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	27日(水)



「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」

🍷「かぼちゃメープルシフォンケーキ」……300円🍷

くりまさるの風味とメープルシロップのほんのりとした甘さが、絶妙にマッチ！優しい味わいのきれいな黄色のシフォンケーキです。



今月のお気に入り…「9月と言ったらやっぱりお月さま！！」

～「ほっかりつきがでましたら」「月のふしぎえほん」「もんぼんありと月」「ムーン・ジャンパー」「月夜のオーケストラ」など～



「ほっかりつきがでましたら」は、内田麟太郎さんと渡辺有一さんコンビの、ほっこりするナンセンス絵本です。中原中也の詩の一行で言葉あそびをしてみたという内田さん。遊びすぎでしょって感じですが、笑わずにはられません。渡辺さんの絵もとても美しいです。「月のふしぎえほん」は、月に関する図鑑のような学習絵本です。月は昔から身近な存在ですが、知らないこともいっぱいあります。



地球との違いや、月の模様・大きさ・形・動きなどなど、たくさんの月を知ることができます。

今月の本棚…「おはなしのたからばこ」

～「3びきのくま」「ポケットに砂と雪」「すずの兵隊」「くわずにょうぼう」「犬の目」「カメのえんぞく」「赤ずきん」「赤いくつ」～



「フェリシモ」さんより誕生したシリーズです。グリム・アンデルセン・日本民話・落語などおなじみのお話から、そのお話を源泉とした創作など、バリエーション豊かな絵本になっています。「3びきのくま」は、夜をテーマに描かれており、迫力あるあべ弘土さんの絵とアイヌのことが何とも神秘的な怖さを生みだしています。和田誠さんの魅力がいっぱい詰まった「ポケットに砂と雪」は、短編小説のようでラストにびっくり。心に残る不思議なお話です。他にも石津ちひろさんと宇野亜喜良さんの「すずの兵隊」など、豪華な作家さんたちが今までにないような視点で、お話の世界を広げてくれています。日頃、絵本と縁のない大人の方にも、ぜひ読んでもらいたいシリーズです。



ほっとフレイク

折り紙…エントランスのホワイトボードの下のカウンターに、時々折り紙で季節のものなど色々なものを作っていました。お客さまから、「どうやって作るの?」「孫にあげたいからもらっていい?」など、声をかけていただくようになりました。それで、たくさん作った時は、自由に持って帰ってもらうようにしました。

ヒストリアには大人だけでなく、「子ども将棋」や「A-cos 体操クラブ」「AMZ モダンダンス」など小さな子どもたちも毎週のようにやってきます。「わあ～、かわいい。」「どれにしようかなあ。」という声を聞くと嬉しくなります。時には、「今日は折り紙ないの?」と言われることもありますが・・・

1枚の紙から美しい花や、かわいい動物など折りだせる「折り紙」は、日本に古くから伝わる文化として親しまれてきましたが、趣味・教育・リハビリテーション効果だけでなく、今では工業製品にまで応用されるようになりました。そして「折り紙」の素晴らしさは、国や地域を超えて世界共通語「ORIGAMI」として、世界中に羽ばたいています。紙の伝来と丈夫な和紙の開発によって、日本独自の包みの文化から生まれた「折り紙」。日本人として誇らしく、後世に残していきたい文化の1つだと思います。

